

平成 13 年 5 月 9 日

各 位

本店所在地 東京都港区六本木 4-8-7 六本木三河台ビル
(登記上は東京都千代田区丸の内 3-2-3)

会 社 名 **グッドウィル・グループ株式会社**
(コード番号:4723 店頭登録銘柄)

代 表 者 代表取締役会長 折口 雅 博
問 合 せ 先 取締役管理本部長 金 崎 明
電 話 番 号 03-3405-9228

四 半 期 の 当 社 の 事 業 進 捗 状 況 に つ い て

当社の第 7 期第 3 四半期(平成 13 年 1 月 1 日から平成 13 年 3 月 31 日まで)の事業の進捗状況についてお知らせ申し上げます。

1. はじめに

当四半期におけるわが国経済は、米国景気の減速や株式市場の低迷等を背景に持続的な物価下落が続く緩やかなデフレ状態にあり、企業収益の改善は足踏状態にあります。他方、企業のリストラ、倒産件数の増加等により、完全失業率が高水準で推移するなど個人消費、雇用情勢は依然、厳しい状況にあります。このように、わが国経済は、「自立的回復に向けた動き」は続いているものの、本格的な回復軌道に乗ったといえる状況には依然至っていない状況にあります。

当社は、企業理念に『拡大発展』『社会貢献』『自己実現』を掲げる設立 7 年目のベンチャー企業であり、本業の軽作業請負事業を行う一方でグループ企業 23 社(当四半期連結対象会社数)を統括する持株会社でもあります。当企業グループは、人材に関するあらゆる支援ビジネス(総合人材サービス)を行っており、『アウトソーシング』『人材』『医療・介護』『美容・健康』分野で多角的に事業展開を図っております。

2. 当社における事業の進捗状況

(1) 当社の販売状況

当社の軽作業請負事業は、「労働力を必要な時に、必要な人数のみ、必要な場所にて確保したい」顧客ニーズに対し、作業スタッフの調達から作業の実施、完了までを請負うサービスの提供を行うアウトソーシング関連ビジネスであります。経済情勢悪化に伴い、アウトソーシングは、リストラクチャリング・リエンジニアリングの一環として見直されており、軽作業請負事業は、産業界のアウトソーシングの普及というフォローの風を受け創業以来急成長を続けております。

当社の請負作業のメニューも従来の軽作業の請負作業に加え、マルチメディア関連の請負作業、販売代行、市場調査、一般オフィスにおけるデータ入力等の請負作業などを加え増加傾向にあり、年間を通して売上を安定して計上できる体制の確立に注力してまいりました。当四半期における前期に比しての大幅な増収増益は、安定的な収益構造を実現したことによるものと理解しております。現在、商品等の販売作業、倉庫内物品検品作業並びにネット通販に対応した物流作業、機器取付工事作業の請負等、顧客の販売・物流・製造工程の一部作業をアウトソース受託する需要が急増しております。これらは一般企業との継続的な請負契約関係を基礎にするため、今後もより一層安定した事業基盤の確立が見込まれます。一方で雇用の流動化等、激変する労働市場が存在する中、従来固定費であった人件費を変動費化するコンセプトに基づく、「人材」を中心とした新しいアウトソーシング関

連ビジネス・モデルの完成に引き続き注力してまいります。

当四半期におきましては、産業界における労働力のアウトソーシングのニーズの高まりによる既存店売上の大幅な伸びに加え、前年同四半期以降新設された支店による増収効果もあり、当四半期の売上高は前年同四半期比64.3%増と上半期から引き続き大幅な増収を達成することができました。また、平成13年3月単月におきましては、当社の主要顧客である、物流、引越業界の繁忙期と合い、当社設立以来、最高売上高である27億を達成いたしました。

当四半期中に、上半期からの新規出店のノウハウの充実・蓄積を基礎として、1月に蒲田支店(東京都大田区)三田支店(兵庫県三田市)高槻支店(大阪府高槻市)を、2月に錦糸町支店(東京都墨田区)調布支店(東京都調布市)橋本支店(神奈川県相模原市)土浦支店(茨城県土浦市)南越谷支店(埼玉県越谷市)門真支店(大阪府門真市)上前津支店(愛知県名古屋市中区)五日市支店(広島県広島市)掛川支店(静岡県掛川市)香椎支店(福岡県福岡市)セールスプロモーション(以下SP)御茶ノ水支店(東京都千代田区)を、3月に原宿支店(東京都渋谷区)西船橋支店(千葉県船橋市)北朝霞支店(埼玉県朝霞市)堺支店(大阪府堺市)富士支店(静岡県富士市)犬山支店(愛知県犬山市)上越支店(新潟県上越市)東広島支店(広島県東広島市)SP横浜(神奈川県横浜市)の計23店舗を新規開設いたしました。その結果、3月末現在、全国136店舗のサービスネットワーク体制を構築いたしました。当社の新しい試みとして、お客様の工場内に当社センターを設置し、製造工程の一部をアウトソースするというファクトリー事業を平成12年12月より、岩井センター(茨城県岩井市)にて開始しております。ファクトリー事業は一般の企業との継続的な請負契約関係を基礎とするため、継続的かつ安定した事業収益が見込まれます。

以上の結果、営業力の強化・向上及び従業員のモチベーションアップ等とあいまって、顧客の新規獲得数も順調に推移し、従来以上の安定的な収益拡大を達成することができました。今後とも、さらに積極的な支店網の展開を図り、顧客ニーズを正しく読み取りつつ、多様な請負メニュー提供による営業力の強化を図ってまいります。

(2) 第3四半期の売上高の状況

(単位：千円、単位未満切り捨て)

品目別		期別		増減率
		13年6月期第3四半期 (自平成13年1月1日 至平成13年3月31日)	12年6月期第3四半期 (自平成12年1月1日 至平成12年3月31日)	
請負作業	キャストイング作業	5,341,615	3,090,737	72.8%
	コンストラクション作業	73,120	81,234	10.0%
	アジャスト作業		37,203	
	テクニカルサポート作業	137,594	42,211	226.0%
	その他	194,904	246,863	21.0%
合計		5,747,235	3,498,250	64.3%

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 当社が行う請負業務は人員数、期間等が一律ではないため、数量表示は困難でありますので記載しておりません。
 3. 品目区分について
 請負作業・キャストイング作業……軽作業全般の請負作業
 " ・コンストラクション作業……建設、内装現場の請負作業
 " ・アジャスト作業……倉庫、工場内の請負作業
 " ・テクニカルサポート作業……マルチメディア関連の請負作業
 " ・その他……オフィス・事業所内軽作業、セールスプロモーション、市場調査・競合調査、データ入力等の請負作業
 4. テクニカルサポート作業は平成12年1月より発足いたしました。
 5. 各支店の営業体制及び事務対応能力が向上したため、当期よりアジャスト作業を全国のキャストイング支店に振り分けております。そのため、従来のアジャスト作業の売上高は、当期よりキャストイング作業の売上高に含まれております。
 6. 売上高の数値は、未監査であります。

(ご参考) 第3四半期までの売上高の状況(四半期累計)

(単位：千円、単位未満切り捨て)

品目別		期別		増減率
		13年6月期第3四半期 (自平成12年7月1日 至平成13年3月31日)	12年6月期第3四半期 (自平成12年7月1日 至平成13年3月31日)	
請負作業	キャストイング作業	14,427,935	8,061,427	79.0%
	コンストラクション作業	257,891	219,855	17.3%
	アジャスト作業		106,537	
	テクニカルサポート作業	309,449	42,211	633.1%
	その他	479,702	542,613	11.6%
合計		15,474,980	8,972,643	72.5%

3. 第3四半期の損益の状況

(1) 第3四半期の個別損益計算書

(単位：千円、単位未満切捨)

科目	13年6月期 第3四半期 (自平成13年1月1日 至平成13年3月31日) (A)		12年6月期 第3四半期 (自平成12年1月1日 至平成12年3月31日) (B)		前年同期比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額(A)-(B)	増減率
		%		%		%
売上高	5,747,235	100.0	3,498,250	100.0	2,248,985	64.3
売上原価	3,663,421	63.7	2,176,161	62.2	1,487,260	68.3
[売上総利益]	2,083,814	36.3	1,322,088	37.8	761,726	57.6
販売費及び一般管理費	1,394,556	24.3	750,438	21.5	644,118	85.8
[営業利益]	689,257	12.0	571,650	16.3	117,607	20.6
営業外収益						
受取利息	35,077	0.6	29,709	0.9	5,368	18.1
その他	7,637	0.1	9,987	0.3	2,350	23.5
営業外費用						
支払利息及び割引料	27,648	0.4	20,946	0.6	6,702	32.0
新株発行費			103,850	3.0	103,850	
その他			11,735	0.3	11,735	
[経常利益]	704,323	12.3	474,814	13.6	229,509	48.3

- (注) 1. 上記損益計算書においては、特別損益以下の項目の記載を省略しております。
2. 前年同期比増減の欄の増減は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{(\text{A}) \text{ 当年第3四半期の実態} - (\text{B}) \text{ 前年第3四半期の実態}}{(\text{B}) \text{ 前年第3四半期の実態}} \times 100$$

3. 上記の数値は、当四半期における業績の速報であることから、一部正規の決算手続を経ていないものが含まれており、未監査であります。

(2) 第3四半期の個別損益計算書(四半期累計)

(単位:千円、単位未満切捨)

期別 科目	13年6月期 第3四半期 (自平成12年7月1日 至平成13年3月31日) (A)		12年6月期 第3四半期 (自平成11年7月1日 至平成12年3月31日) (B)		前年同期比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額(A)-(B)	増減率
		%		%		%
売上高	15,474,980	100.0	8,972,643	100.0	6,502,337	72.5
売上原価	9,879,117	63.8	5,734,310	63.9	4,144,807	72.3
[売上総利益]	5,595,862	36.2	3,238,333	36.1	2,357,529	72.8
販売費及び一般管理費	3,645,861	23.6	2,041,838	22.8	1,604,023	78.6
[営業利益]	1,950,001	12.6	1,196,494	13.3	753,507	63.0
営業外収益						
受取利息	194,048	1.2	43,982	0.5	150,066	341.2
その他	74,782	0.5	17,198	0.2	57,584	334.8
営業外費用						
支払利息及び割引料	63,884	0.4	45,711	0.5	18,173	39.8
新株発行費			132,806	1.5		
株式公開費用			32,050	0.4		
その他	3,463	0.0	17,946	0.2	14,483	80.7
[経常利益]	2,151,484	13.9	1,029,161	11.5	1,122,323	109.1

- (注) 1. 上記損益計算書においては、特別損益以下の項目の記載を省略しております。
2. 前年同期比増減の欄の増減は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{(\text{A}) \text{ 当年第3四半期の実態} - (\text{B}) \text{ 前年第3四半期の実態}}{(\text{B}) \text{ 前年第3四半期の実態}} \times 100$$

3. 上記の数値は、当四半期における業績の速報であることから、一部正規の決算手続を経ていないものが含まれており、未監査であります。

以上